

## テーブルに対して、統計情報を固定して、変化させない方法

データが一度削除されてから、再作成が行われるテーブルなどについては、データが揃った状態で作成されたオブジェクト統計情報が必要となる

すなわち、このようなテーブルには、データが空の状態で、自動統計による処理が行われないようにする必要がある

### テーブルの統計情報を固定化させる手順

1. テーブルへデータを入力する
2. テーブルの統計情報を変更可能状態にする
3. オブジェクト統計を手動で作成する
4. テーブルの統計情報を変更不可（固定）する

もしくは、オブジェクト統計の取得が行われないようにする

#### < 個別オブジェクトへの指定 >

```
sql> EXECUTE DBMS_STATS.UNLOCK_TABLE_STATS('<スキーマ名>',  
      '<テーブル名>');
```

```
sql> EXECUTE DBMS_STATS.LOCK_TABLES_STATS('<スキーマ名>',  
      '<テーブル名>');
```

#### < 特定スキーマに属するすべてのオブジェクトへの指定 >

```
sql> EXECUTE DBMS_STATS.UNLOCK_SCHEMA_STATS('<スキーマ名>');
```

```
sql> EXECUTE DBMS_STATS.LOCK_SCHEMA_STATS('<スキーマ名>');
```

オブジェクト統計の取得が行われないようにする

すべてのスキーマのオブジェクト全部の統計情報を固定化する

ただし、Oracle のディクショナリ表に対しては、統計情報を収集して更新する

```
sql> EXECUTE DBMS_STATS.SET_GLOBAL_PREFS(-  
          'AUTOSTATS_TARGET', 'ORACLE');
```

全統計情報を収集しないようにする

Oracle のディクショナリ表についても収集しない

```
sql> BEGIN  
      DBMS_AUTO_TASK_ADMIN.DISABLE(  
          client_name => 'auto optimizer stats collection',  
          operation => NULL,  
          window_name => NULL  
      );  
END;  
/
```